

弁護士の無料相談受付中
TEL: 070-5517-0686



動物愛護党

田中けん

田中けんの

政策

1

アニマルポリスの創設

立入検査の権限強化で動物虐待ゼロ

2

情報公開とコールセンター設置

区議会の全会議をYouTubeでライブ中継

3

教育の拡充と災害避難場所の拡大

区内小中学校の敷地面積を15,000m²以上に

4

私立中学の授業料免除

卒業を条件に、全額公費負担

5

非正規公務員の待遇改善

「年収200万円未満」からの脱却



コラム



2022年ウクライナを応援

ウクライナ人はドンバス地方とクリミア半島を取り戻すまで戦争を止めません。ウクライナ支持とは、戦争継続を支持することです。

思考停止した「戦争反対」はロシアに言うべき言葉。ウクライナに戦争反対を言えば「死んでください」の意味。もし今停戦すれば、ロシアの侵略を認めたことになります。侵略者にお土産は持たせません。

NATOの東方拡大というロシア挑発から始まった戦争です。ウクライナ人を犠牲にしてでも、ロシアの弱体化を米国は狙っています。米国の思惑を理解の上でのウクライナ支持とロシアの弱体化が日本の国益です。

共著



“外国人参政権”で
日本がなくなる日
宝島社 (2010年)



“人権侵害救済法”で
人権がなくなる日
宝島社 (2012年)

【文書出演】2018年9月25日虎ノ門ニュースにて
在日外国人の地方参政権に関連して
田中けんの文章が紹介され、中国人
による日本乗っ取り計画の可能性が
指摘されました。

田中けんのprofile

酒もタバコもコーヒーも飲まず吸わずに活動中！

- ・1966年 江戸川区生まれ
- ・江戸川区立松江第三中学校卒業
- ・東京都立墨田川高校卒業
- ・千葉大学教育学部卒業
- ・元江戸川区議会議員（5期18年）
- ・参議院議員政策担当秘書
- ・全国禁煙推進地方議員連絡会 代表世話人
- ・ホームヘルパー2級

関心ある政策課題：
高速道路料金やNHK受信料など日本の隠れ税金。都市の過密化と少子化。
憲法改正。冤罪撲滅、司法改革。
武器輸出解禁。軽自動車の車格拡大。
日台関係法制定。移民反対。

趣味：
キャンプ・スキーバダイビング・アニメ
シーカヤック・バイク・旅行・カラオケ

アクセス
お待ちして
おります



YouTubeチャンネル



田中けんWeb事務所



Twitter

2023年 軌跡



農業では、土を耕し、種をまき、水を与える、収穫します。政界での仕事も農業同様です。気づき、調査して、提案し、議論が深まり、議会の大半の同意を取り付け、法制化されます。ただし大人社会が結果主義であるように、最後の法制化に携わった議員だけが、自分たちの実績として誇るのは、政界ではよくある景色です。

「こい」では私が長年取り組んできた社会の禁煙化を例に、私がどうやって土を耕し、種をまき、水を与えて、収穫まで至ったの過程を話します。

タバコはとても身近な存在です。それだけに条例制定にはまず議員の意識改革から始めました。本会議場は最初から禁煙でした。他の会議も禁煙にしようと私が訴えて、各種委員会の禁煙化は比較的早く実現しました。

いたありました。目の前に灰皿があるので、自然と喫煙する議員がいたので注意したところ「ここでは喫煙が認められているのだから問題ない」と反論され、私の抗議は無視されました。

このような経験以降、視察先で私は誰よりも早く会議室に入つて灰皿チェックをして、もし灰皿が机上においてあれば現地の職員に命じて灰皿を撤去させました。

また視察先の役所に対しては、事務局職員を通じて「視察中は我々の机の上に灰皿を置かないように」と根回しをしました。同時に「もし視察先で喫煙する」とあれば、私はそこで喫煙の可否について議論を吹っ掛けて、事実上委員会視察を止めます」的な意味合いも暗に含めて話をしました。

何事も物事を実行するうえでは、正論だけが有効ではなく、そのあたりは議員個人の気迫がものを言います。同時に、期を重ねることにベテラン喫煙議員が引退し、私が当選回数を重ねることで議会内の発言力が増したこと、議会内の禁煙化が進んだ理由の一つでしょう。

江戸川区歩行喫煙及びポイ捨ての防止等に関する条例
平成24年1月1日施行

同条例の改正
令和2年4月1日施行（「受動喫煙防止重点区域」の追加等）

しかし喫煙議員による抵抗はありました。議論では「喫煙者にはタバコを吸う権利がある」と言い出す議員もいました。まだ喫煙が一般的な時代です。禁煙派と喫煙派の折衷案として、喫煙室を作る合意がなされました。役所内にも喫煙室はありましたし、中央図書館開設時には、2階のスペースには喫煙室もありました。

各種委員会が禁煙になつても、各会派（政党のような議会内のグループ）の代表が集まって話をする幹事長会は禁煙化されませんでした。理由は「委員会」の名称がついていない会議だからです。私から見ればくだらない理由なのですが、喫煙派議員の反論を封じ込めて、禁煙化を徹底するには、一つ一つの穴を埋めていく作業が必要でした。

例えば委員会視察中のバスの車内で喫煙する議員がいました。「今は委員会中だから禁煙です」と私が注意しましたが、バスの中が禁煙とは決まっていないと反論され喫煙は強行されました。すると次の会議で視察中のバスの中の喫煙を話題として提案し、議会内の確認を取るという作業を行なうのです。視察中の懇親会で喫煙する議員がいたので「今は委員会中だから禁煙です」と注意しました。それでも食事中に禁煙だとは決めていないと反論・無視されました。

私が初当選して、江戸川区内で初めて禁煙を訴えて以来、東京都受動喫煙防止条例が全面施行されるまで、実に25年の歳月が流れています。

政策実現の過程にはこれだけ長い時間がかかる

ということを知つてください。

自分が知らないだけで、政界にも土を耕す人、種をまく人、水を与える人がいることを想像してください。私の政治活動は、これからも土を耕し、種をまき、水を撒くのです。目先の成果ばかりでなく、未来への視点をもって、25年後の子どもたちが暮らしがやすい江戸川区を作るためにがんばります。

応援お願い
いたします！

